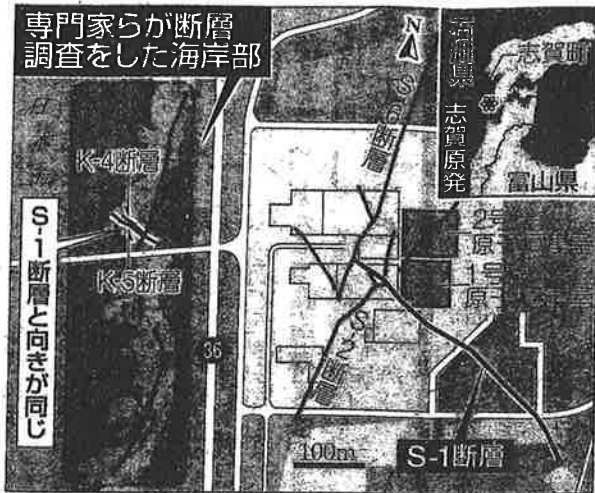


志賀原発海岸は「断層」

北電 3%



地質学者らグループ調査

立石雅昭新潟大名誉教授（地質学）らのグループが、北陸電力志賀原発1号機（石川県志賀町）直下の「S-1断層」は活断層ではないという主張の根拠の一つを調査結果をまとめた。同社は、原発西側の海岸に多くある溝のような地形は「浸食作用によるもの」で断層ではなく、それと似ている「S-1断層」の岩盤のずれも断層ではないと主張しているが、立石氏らは海岸部の地形は断層であるとしている。（中山洋子）＝関連図面

「浸食地形」北電説明 根拠崩れる S-1否定

高岡連帯する会 引っ越し!!
10月1日(日)より
本会館から
地場産センターへ移転
(新住所)
〒933-0909
高岡市 南発本町1番1号
高岡地域地場産業センター
4F
TEL・FAXは変更なし
TEL 0766-22-4649
FAX 22-3974



全国で唯一稼働中の大飯原発4号機（福井県おおい町）が十五日に定期検査に入るのを前に、脱原発を望む市民や団体が十四日、再稼働反対（9・14さよなら原発大集会）を東京都江東区の豊洲中央公園で開いた。作家の大江健三郎さんら知識人でつくる「さよなら原発」一千万署名市民の会が呼びかけ、九千人（主

絆壊す原発 さようなら

大江さんら東京で集会

催し発表）が集まった。東京電力福島第一原発は「大飯は停止する発事故の後、福島市が、原発直下に活断層があるかないかで専門人と自主避難した「瓶」家たちが議論している。和子さんも「事故、市民の一部は、どを壊された。福島市を利地区では今も除染を繰り返している」と原発事故への怒りを述べた。大江さんは、安倍晋三首相が東京五輪の招致演説で福島第一原発の汚染水の問題を「コントロール」されてい「首相のうそが日本の評価にどうはね返るか、それを引き受けていくのが次の世代に生きる人間。それを考え続けたいといけな」と述べた。

大飯4号機定期検査入り

電に反対する市民団体

